

予 算 要 求 資 料

令和6年度3月補正予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名【新】リーディングDXスクール事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 義務教育課 小中教科教育係 電話番号：058-272-1111(内8588)

E-mail：c17785@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 1,100 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	1,100	0	0	0	0	0	1,100	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

GIGAスクール構想の下、1人1台端末の更新やネットワークの高速化は各自治体において進められている。全ての学校においてICTを日常的に活用されるとともに、ICT環境を基盤として、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を進めることや、児童生徒の情報活用能力を育成することが課題である。

(2) 事業内容

指定校における1人1台端末とクラウド環境を学習の基盤とした個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を資する好事例を創出し、県の域内、さらには全国に、そして校種を超えて普及・展開することで、GIGAスクール構想の加速化を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

国負担10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	55	講師謝礼等
旅費	997	研修旅費
消耗品費	48	書籍代、事業の実施に関わる事務用品等
合計	1,100	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第4次岐阜県教育振興基本計画
 施策Ⅱ 「未来を創る確かな学力と実践力」の育成
 9 ICTを利活用できる力の育成

(2) 国・他県の状況

文部科学省において、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る「GIGAスクール構想」の下、児童生徒の1人1台端末及び通信ネットワーク等の学校ICT環境での新しい学びの一層の充実に取り組むこととしている。

(3) 後年度の財政負担

文部科学省からの事業実施に対する支援。

(4) 事業主体及びその妥当性

小・中学校を所管する市町村が事業を実施し、その支援を国及び県が行っていく。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 1人1台端末とクラウド環境を学習の基盤とした実践研究を計画的に行い、GIGA環境の活用への理解を深め、自ら考え、判断する力を身に付けさせる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R6)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①一人一人端末などのICT機器を活用することで、楽しみながら学習を進めることができると肯定的に回答した割合 【充実度】	小85.8% 中84.5% (県児童生徒質問)	/	/	100%	100%	/
②一人一人端末などのICT機器を授業で「ほぼ毎日活用」、「週3回以上」と回答した割合 【活用度】	小95.6% 中94.0% (県学校質問)	/	/	100%	100%	/

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	/
令和4年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和5年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 3	GIGAスクール構想の下、児童生徒の1人1台端末及び通信ネットワーク等の学校ICT環境での新しい学びの一層の充実が求められている。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 2	市町村及び教育事務所と密に連携し、事業の効率化を図る。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 端末活用の促進とともに指導改善及び学習改善につながる活用を促進する。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 互いの実践からの相互学習を推進することにより、効果的な授業実践の創出・モデル化を図る。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	【〇〇課】